

城下町中津のひなまつり「第6回歴史探検ウォークラリー」 なかつジュニア歴史ガイド、デビュー！ 中津少年少女ふるさとクラブ学習成果の発表



1. 「なかつジュニア歴史ガイド」養成講座の目的

- ・自分が生まれ育った地域の歴史、文化に関心を持ち、それを深く学ぶことで、郷土に誇りを持ち、郷土のよさを発信できる人材を育成する。
- ・学んだ成果を発揮し、歴史ガイドとしての役割を果たすことを通して、自分に自信を持たせ、さらに「ふるさと学習」の意欲を高めるさせる。

2. クラブ員 南部小学校5年生2人、6年生2人

3. 指導 中津の郷土史を語る会3名

4. 場所 南部公民館、中津城及び城下町

5. 学習の経緯

- ・第1回 10月10日(水) 南部公民館 ガイド養成講座開講式、資料学習「中津城」
- ・第2回 11月14日(水) 中津城で現地学習
- ・第3回 12月12日(水) 南部公民館 資料学習、「中津城下町」
- ・第4回 1月9日(水) 中津城下町で現地学習、ガイド役割分担
- ・第5回 2月13日(水) 南部公民館 ガイドの心得学習、現地リハーサル
- ・第6回 2月27日(水) 現地リハーサル、閉講式(委嘱式)



平成31年3月2日(土) 9:00 中津城発～12:00 南部公着

「歴史探検ウォークラリー」で成果発表！



ガイド① 9:00～9:45 (予定)

場所:中津城椎の木門 **CP1**

説明:ジュニアガイド5年生2人

内容:中津城の特徴、石垣

ガイド② 9:15～10:00 (予定)

場所:北部集会所前 **CP3**

説明:ジュニアガイド6年生2人

内容:城下町の成り立ち、寺町

ふるさと中津について深～く学び、
未来の中津を担う、地域で活躍する人材を育成します！

【問合先】

教育委員会 社会教育課 生涯学習推進室

担当:山本 (TEL:0979-22-1111 内線481)

南部公民館 館長 柚木 (TEL:0979-25-0822)

探検(たんけん)シート

探検のしかた

- ①チェックポイント★を1から番号順にまわってね。
- ②ガイドさんのお話を聞いて、クイズに答えよう。
- ③正解するとスタンプがもらえます。
- ④スタンプを全部集めたらゴール(南部公民館)へ!

案



11時~12時分までにゴールしてください。
いろいろなおひなさまを見ながら、楽しく探検しよう♪何が発見できるかな?

1 中津城(なかつじょう)

Q. 中津城の最初のお殿様は誰でしょう。

1. 織田 信長(おだのぶなが)
2. 豊臣 秀吉(とよとみひでよし)
3. 黒田 官兵衛(くろだかんべえ)

●なかつジュニア
歴史ガイド①

2 福澤旧居(ふくざわきゅうきょ)

Q. アメリカから帰国した福澤諭吉が、日本に初めて紹介した食べ物は、次のどれでしょう。

1. カレーライス
2. ハヤシライス
3. オムライス

本日限定
福澤旧居(庭)は
見学無料です。

3 中津の城下町(なかつのじょうかまち)

Q. 城下町の完成と共に誕生した町名はいくつあるでしょう。

1. 3
2. 14
3. 100

●なかつジュニア
歴史ガイド②

4 合元寺(ごうがんじ)

Q. 合元寺は別名で何と呼ばれているでしょう。

1. 赤寺(あかてら)
2. 赤壁(あかかべ)
3. ぬりかべ

5 村上医家史料館(むらかみいかしりょうかん)

Q. 漢方薬として飲まれていた物が村上医家史料館に展示されています。次のどれでしょう。

1. 醤油(しょうゆ)
2. はちみつ
3. 亀の甲羅(こうら)の薬

6 蛭子宮(えびすぐう)

Q. 宮の正面にある赤い部材は、ある生き物の足に形が似ているので「〇〇また」と呼ばれています。次のどれでしょう。

1. 墓股(かえるまた)
2. 猫股(ねこまた)
3. 海月股(くらげまた)

7 村上記念童心館(むらかみきねんどうしんかん)

Q. 村上巧児さんがこの童心館を作るきっかけとなった、友人の珍珠町出身で日本のアンデルセンと呼ばれた童話作家は誰でしょう。

1. 伊藤 博文(いとうひろぶみ)
2. 久留島 武彦(くるとまけひこ)
3. 坂本 龍馬(さかもとりよしま)

8 木村記念美術館(きむらきねんびじゅつかん)

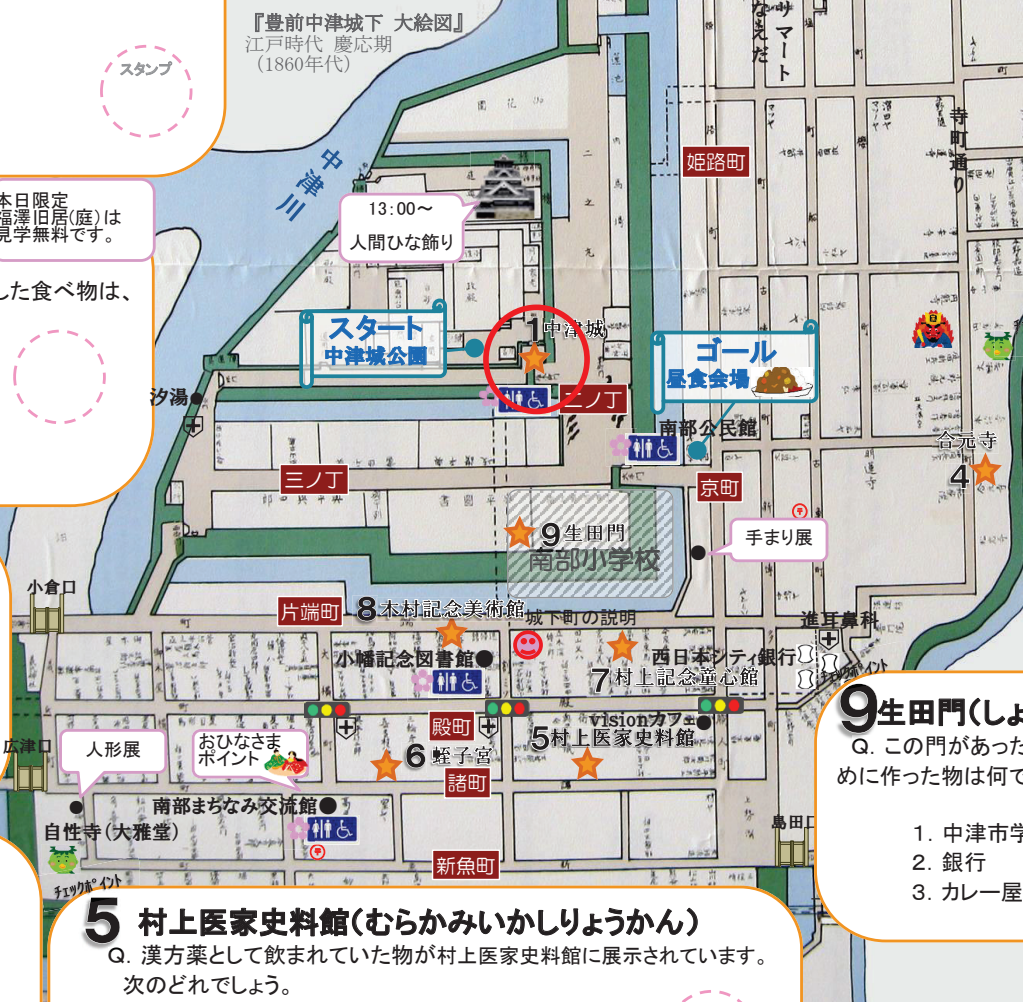
Q. 水墨画の作品や、料理本の執筆で知られ、南部公民館の横には記念碑もある田信。「田信」という名前は、彼が使っていたペンネーム(号)です。では、本名はなんというのでしょうか?

1. 田中新平
2. 田中晋平
3. 田中信平

9 生田門(しょうだもん)

Q. この門があった昔の建物を利用して、福澤諭吉先生が中津の人のために作った物は何でしょう。

1. 中津市学校
2. 銀行
3. カレー屋



福澤記念館 入場割引券 大 400→300円 小 中200→150円 【H31.3.2のみ有効】	中津城 入城割引券 大 400→250円 小 中200→100円 【H31.3.2のみ有効】
---	---

:おひな様を展示しています
 :「ビーバッド」があります

中津城(なかつじょう)

中津城のお殿様は、次の4家です。



黒田家



↓
細川家



↓
小笠原家



↓
奥平家



日本三大水城の一つ。長篠の戦いで使われた武具や徳川家康公直筆の書、織田信長公→家康公→奥平家と伝わった白鳥鞆の鍮(やり)など、奥平家の数々の重宝が展示されています。

中津城の石垣

(なかつじょうのいしがき)

九州で最も古い高い石垣を持つお城です。



県指定史跡

本丸南側の石垣は、傾斜は直線的ですが、水平方向に緩やかにカーブを描くことで、倒れにくい工夫をしています。また、本丸の北側には、黒田時代、細川時代に造られた部分を一目で見ることのできる貴重な石垣があります。

生田門

(しょうだもん)

生田門は、江戸時代以降、色々な人達が通る門となりました。



市指定文化財

生田家の人々



↓
中津市学校の学生



↓
南部小学校の児童



古くなり解体されていた生田門は、平成12年に復元され、現在地に場所を変えました。

(改修中)中津市歴史民俗資料館

(なかつしれきしみんぞくりょうかん)

図書館

↓
歴史民俗資料館

???

市民に長く愛されてきた

この建物は、現在改修工事中です。次は何に生まれ変わるのでしょうか

工事が終わったら、みなさん遊びに、勉強に来てね!



昭和13年(1938年)築の二代目です。

国登録文化財

案



城下町中津のひなまつり

第6回

「歴史探検ウォークラリー」

平成31年3月2日(土)
9:00~12:00

緊急連絡先: 0979-25-0822(南部公民館)
090-4774-4855(山影)

主催: 南部まちおこし講座・中津市役所まちづくり推進室

探検のしかたはここを読んでね

～探検のしかた～

9:00~9:30 受付(中津城公園)



各自探検スタート

- ①うら面の「探検シート」のチェックポイント★を1から番号順にまわってね。
- ②ガイドさんのお話を聞いてクイズに答えよう。
- ③正解するとスタンプがもらえます。
- ④スタンプを全部集めたらゴールへ

11:00~12:00

探検ゴール(南部公民館)

12時00分までにゴールしてください。

昼食11:00~12:15まで

ゴール会場で昼食が待っています。



村上医家史料館

(むらかみいかしりょうかん)

市指定史跡

中津藩のお殿様の専属のお医者さんとして江戸時代に活躍した村上家の史料館です。約400年続いている医家で、7代目玄は、九州で最も早い時期に、当時は簡単には行うことのできなかった人体解剖(かいぼう)を行っています。「村上水軍」の流れを受ける家紋(かもん)は、船の帆を表しています。



むろや醤油 (むろやしょうゆ)

創業300年

奥平氏の御用商人としてお醤油を献上し、広く豊前地で親しまれてきました。創業から約三百年を経た今でも、伝統の製法と味を受け継ぎ、手作りを貫いている醸造所です。江戸時代から受け継いできた味を守り、昔ながらの手仕事で醤油を製造しています。

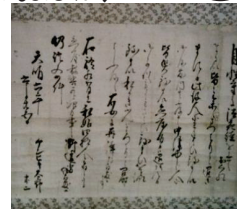


自性寺とかつぱのお墓

(じしょうじとかつぱのおはか)

県指定文化財

中津藩のお殿様を務めた奥平家の一族を供養するお寺です。このお寺には、お殿様のお墓の他、かつぱのお墓と言われるものや「ケンヒキ太郎」という、かつぱの詫び証文の掛け軸が残されています。水木しげるのマンガ『詫び証文』でも紹介されています。



詫(わ)び証文(自性寺蔵)

お囲い山

(おかこいやま)

県指定史跡

お囲い山は、お城への敵の侵入を防ぐために、城下町の周囲に造られた巨大な土手のことです。この土手は、堀を掘った土を盛り上げて造られました。神奈川県の小田原城(おだわらじょう)が有名ですが、九州で残るのは、中津だけとなりました。



城下町には歴史を知ることが出来るものが、たくさん残っています。チェックポイント以外も探検してみよう!

城下町には、江戸時代から続く町の名前が残っています。この型の看板を探してみよう。



■二ノ丁(にのちよう)■

中津城の中心「本丸」の東側にお堀や屋敷、お寺などがあった「二の丸」が、明治になり二ノ丁と呼ばれるようになりました。

■三ノ丁(さんのちよう)■

奥平藩時代の八家臣(奥平七族と城代家老・生田家)が、お屋敷を構えていたところでした。

■京町(きょうまち)■

京都付近からの移住者が住んでいたことから「京町」と名付けられました。また、京都が日本の中心であるように、中津城下の中心でありたいとの願望からとも言われています。

■姫路町(ひめじまち)■

黒田官兵衛が中津藩の大名になった時、播州姫路よりお供としてやってきた職人や商人によりできた町です。

■留守居町(るすいまち)■

中津城下初期からの呼び名で、藩の役職名、留守居役から町名になっています。この町には福澤諭吉旧居があります。

■片端町(かたはまち)■

この町の北側は中津城の外堀で、上級武家屋敷の町並みは南側だけに並んでいるので、こう呼ばれるようになりました。

■殿町(とのまち)■

片端町と同じ上級武家屋敷の町です。奥平藩の時代には、五家老の内の四家老が屋敷を構えていたことから、こう呼ばれるようになりました。

■寺町(てらまち)■

中津城の外堀内の東側にあり、お城の防備も兼ねていました。ここには、お寺が12ヶ寺あります。

■諸町(もろまち)■

町内に諸々の(色々な)職人が住んでいたことから、諸町となったと言われています。また、昔から鍛冶屋(かじや)さんが多くいたようです。